

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		福祉キャリアセンター ProgrammingDay吉島		公表日		令和7年2月1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		91%	9%
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		63%	34%		・個別対応を維持する上では職員数が不足している ・職員が体調不良で休むと人数が足りないと思う時がある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		82%	8%	バリアフリーの環境で床マットについても張り替えを行いました。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		91%	9%	定期的な掃除したり、消毒したりしているの比以前に比べると清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います。	窓が少ないのと周囲に住宅があるため窓が開けられない。そのため空気の入れ替えなどは行えてない。空気清浄機などあったらよいかも。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		91%	9%	個室は2部屋あり、予備部屋も2部屋用意されています。個室希望の児童には最低限ニーズに寄り添った対応をしています。	個室希望の児童などできるだけニーズに沿った対応を行っているが、少しずつ個室利用が増えてきており足りない時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		73%	27%	定期的な職員間で会議を行い、業務の見直しや評価をしている。	まだ会議など支援の話というよりかは共有事項のみで終わりがちなと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		73%	27%	週一で事業所内の職員で会議を行っているためその際に話し合いができる場を毎回設けている。	まだまだ一定の保護者にしか意見を聞くことが出来ていないように感じます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%		週1回の定例会議で意見交換や情報共有を行い、それを実際の支援に活かしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0%	100%	法人内の別事業（就労継続支援A型事業）として受審しており評価結果を事業所に共有され、それをもとに業務改善に繋げている。	事業として受審義務はないもの、機会があれば受審し業務改善に繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		100%		資格取得の機会が提供され、個別に合った研修を受けられていると感じています。新人職員が入る際にも毎回実施されているため、効果的だと思います。	研修がもう少しあっていいかとは思っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%		他の方の支援計画を見て学ぶ機会が多いため、支援プログラムは正しく公表されていると思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		100%		最近は一人一人にしっかりと対応できる機会が増えたと感じています。	事業所内での負担が一定の人に偏っているため、その調整が必要だと感じています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		100%		担当児童に良かったことがある人からはその時の様子を共有してもらって、うまくいかない事があった時は事例を基に支援案をいただいて次に繋げています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		100%		容易に閲覧可能な状態にあり支援計画を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		91%	9%	モニタリング前や対応前に日々の記録を確認し、支援に活かすことが多い。また、担当児童を見る時以外にはそういった情報が役に立つので必ずチェックしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		63%	37%	一様には出来ている部分も多いと思う。	本人への支援が中心となり、家族支援や移行支援、地域支援・地域連携が十分に行われていない。また、家族支援に関しては書き方が分からず、記載が不足している場合もあるため、これらの支援に目を向け改善する必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		45%	55%	主担当の方と、情報共有しつつ、変更・改善を行っている。	困っているときは職員間で相談し合っているん意見もらい立案しているがそれ以外は行っていない。チームで立案することも大切だと思うためこういった機会を設けてもよいと思った
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		91%	9%	活動が固定化しないよう工夫しつつ、極端な変化が不安になる子どもには徐々にステップアップできるプログラムを組んでいる。子どものニーズを細かく確認し、主体性を重視したプログラムを考え、毎回アセスメント結果を活用して新しいプログラムを作成している。	

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	82%	18%	この事業所では基本的に個別対応が中心で集団活動は行っていないが、利用者によっては他の利用者に関わる活動を支援し、交流の場や他の人と関わる機会を設けるよう配慮している。お友達と同じ時間帯で通う子どもには特に交流の場を意識した対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	73%	27%	職員間で助け合いながら支援を行い、担当者以外が対応する際には必ず引継ぎを行っている。必要に応じて話し合いの場を設けるようにしているが、定期的な打ち合わせはない。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	64%	36%	職員間で振り返りを行うこともあるが、基本的には個人での反省が中心になりがちである。切り替えが難しかった児童については次の対応を話し合うこともあり、違った視点から意見をもらえるため振り返りは欠かさず行っている。ただし、打ち合わせは行わず、情報共有はシステムを活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援に役立てるため、詳しい記録を取ることを意識し、記録を書きながら自身の行動を振り返るようにしている。メモが難しい場合は写真を活用して記録を補完している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		短期目標に沿った支援の方法を試行錯誤し、半年に一度モニタリングを行っているが、保護者からの返答がなく見直しができている児童もいる。期限ギリギリでのモニタリングが多く、余裕を持つよう改善する必要がある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	73%	27%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	91%	9%	子どもの主体性を大切にしながら支援を行い、自己決定が難しい場合は複数の選択肢を提示して本人が選べるように配慮しています。また、やりたいことを主張された場合にはそれを尊重し、押し付けにならないよう努めています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91%	9%	管理者の代理がよく出席しているので、事業所のことを何となく理解して参加していると思うが以前までは現場にいない人が参加しているイメージだった。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	64%	36%	他の事業所に比べたら作業療法士など医療的な目線で支援に当たれる人が少ないと思います。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	73%	27%	保護者とのやり取りを丁寧に行う職員が多く、学校との直接的な情報共有は少ないものの、担当者会議を通じて学校での様子を把握しています。また、下校時刻の確認を徹底し、30分以上来所がない場合には保護者へ連絡する対応を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	27%	73%	保育園の情報までは支援者に届いていないように感じる	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	73%	27%	車いすの援助や排せつの手伝いなどデイでは出来ていないことが多いと思う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	64%	36%	周りの職員に助言を頂く機会が多いが外部から助言をもらう機会は減多にない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	27%	73%	自発的に他デイのイベントに参加しただけなので、事業所全体でみるとも少ないと思う。まずは会社内にも5つデイがあるので見学させていただいたり、ハートクアさんに訪問しに行くことから始めるのもいいかもしれない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	担当者会議には積極的に参加し、支援に役立っている職員がいます。一方で、まだ参加経験がないものの、機会があれば参加したいと考えている職員もいます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	91%	9%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	45%	55%	勉強が足りないと感じることもあるので、積極的に参加していきたい。またこういった講習会や研修など開催されたら保護者に宣伝している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	91%	9%	見学の際からきちんと行っている。また、支援プログラムの説明中質問があればその都度お答えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	91%	9%	利用者本人とご家族のニーズを確認し、それに基づいた支援目標を作成している。子どもにはお約束（目標）として確認の時間を設け、中学生以降はモニタリングに同席することで、直接ニーズを把握できている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		支援内容を利用者本人と保護者に詳しく説明し、放課後等デイサービス計画に対する同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	82%	18%	悩みに耳を傾け、適切な支援内容を提供している。通所が不安定な子どもには訪問を行い、家庭での様子を聞き取りながら、保護者に寄り添って対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	27%	78%	きょうだい同士の交流の場は適度に設けているが、保護者同士の交流の機会は設けていない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91%	9%	クレームに対してはしっかりヒアリングを行い、対処方法を考えている。責任者にすぐに報告できる環境が整っており、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	82%	18%	パソコンポボなどを活用して効果的に発信しており、問い合わせフォームも活用して新規利用者が問い合わせしやすい環境を整えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		お子さんの作品を掲載する際には確認を取ってから行い、他事業所との情報共有時にはAさん、Bさんと呼ぶようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お子さんとの何気ない会話も記録し、情報を共有する際にはしっかり反映している。また、文字が上手く書けない場合には、Wordで振り書きを書いてもらっている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36%	64%	地域の方が参加できるイベントは少ないが、研修などは地域住民も参加できるようにしている。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	45%	55%	最近、防災に関する話し合いが進んでいるが、全員に共有する機会がもっと必要だと感じている。安全対策委員会が立ち上がり、災害や感染症が流行している今こそ、積極的に活動すべきだと思う。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	36%	64%	全然避難訓練できてないと思う。行う機会を設けて欲しい。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	91%	9%	カルテを通じて情報を把握しているが、忘れることもあるため、定期的に確認が必要だと感じている。体験時やモニタリング時に確認を行い、必要の際は保護者から担当者に伝えてもらうようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	55%	45%	この事業所では食べ物を提供していないため、食事に関する対応はしていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	64%	36%	地震後に話し合いが始まり、安全計画の共有はまだ十分に行われていない。しかし、委員会が発足し、活動を進めて事業所の安全管理に取り組みたいと考えている。これまでに数回の研修が実施されている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	55%	45%	安全計画に基づく取組内容についての周知が曖昧になっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	82%	18%	ヒヤリハットの記録は少ないが、報告ツールがあるため共有はしっかり行われている。再発防止のため、毎週の職員会議で改善策を検討し解決している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	82%	18%	しっかりとした研修が行われており、定期的に開催されているため参加しやすい。	当日不参加のスタッフのフォローとして動画配信を行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	64%	36%	動画で少し見ただけなので、実際に起きたら慌てる可能性がある。現在、身体拘束を行う方はいないため詳しい説明はしていないが、必要があれば対応する予定。		